マリインスキー歌劇場 オペラ・ニュース

芸術総監督・指揮:ワレリー・ゲルギエフ　マリインスキー歌劇場管弦楽団・合唱団

理想のキャストが実現！壮大な歴史絵巻《ドン・カルロ》

ヴェルディ 5幕版 ドン・カルロ

Ken Howard/ Metropolitan Opera

フェルッチョ・フルラネット（フィリッポ2世）／メトロポリタン・オペラ公演より　※写真は上演予定プロダクションと異なります。

＜2012年11月プレミエ＞　イタリア語上演／日本語字幕付【上演時間：4時間20分(予定)／休憩含む】

演出：ジョルジオ・バルベリオ・コルセッティ

予定される主なキャスト
フィリッポ2世：フェルッチョ・フルラネット　ドン・カルロ：ヨンフン・リー
ロドリーゴ：アレクセイ・マルコフ　宗教裁判長：ミハイル・ペトレンコ
エリザベッタ：ヴィクトリア・ヤストレボヴァ　エボリ公女：ユリア・マトーチュキナ

10月10日(月・祝) 14:00　10月12日(水) 18:00　東京文化会館

© Alena Kuznetzova

「オペラ界の至宝」フルラネット、最大の当たり役、フィリッポ2世を語る!!

岸　純信
（オペラ研究家）

イタリアが生んだ「オペラ界の至宝」として、世界中で活躍するバス、フェルッチョ・フルラネット。悲劇でも喜劇でも抜群の存在感を発揮する大ヴェテランだが、この10月にはマリインスキー来日公演でヴェルディ《ドン・カルロ》の国王フィリッポを演ずるとのこと。"当代最高"の定評ある当たり役について、2016年のいま、名歌手の想いを存分に語って貰った。

「フィリッポ役を初めて歌ったのは1980年、ドイツのカッセル歌劇場でした。演出家はジャンカルロ・デルーモナコさん…かのマリオ・デル＝モナコさんのご子息です。そこで役のデビューを果たして以来、この国王役が他にも勝り、最も長く歌ってきたものになっています。ここ15年から20年間は世界中で歌っています。ニューヨーク、ロンドン、パリ、ウィーン、もちろんマリインスキーでも」

様々なプロダクションで演じた役柄だけに、演出家ごとの着眼点の違いもまざまざと感じたのでは？

「そうですね。カッセルの舞台はかなりアヴァンギャルドでしたが、宗教裁判の時代を巧く表出した良い演出でした…私は基本的に、フィリッポ2世役でもっとも重要な5幕版第4幕（4幕版では第3幕）の自室のシーンを、ヴェルディが『こうあってほしい』とイメージした通りの演技でやりたいと思っていますので、伝統的な演出法を好みます。でも、近年は思いつきだけの演出家も多くて、彼らのプランに私が納得できず、喧嘩にまでなってしまうこともあるのです！きちんとしたプロの演じ手に、音楽やリブレットに書かれていないことをさせようとするからです。でも、マリインスキー歌劇場のジョルジョ・バルベリオ・コルセッティさんのプロダクションでは、そのようなことはありませんでした」

ここで、フルラネットが考えるコルセッティ演出（全5幕）の特色を。コスチュームは伝統的な美感に則った分かり易いものだが、舞台装置はすっきりしたモダンなものでは？

「思うに、個性の強い演出ですね。いわゆる『トラディショナル』なものではないですが、音楽と台本には忠実に仕上がっていました。その点が私の姿勢とも一致します。歌っていて気持ちのよいものでした。自分の舞台史にこのステージが加わったことは幸運だと思います。舞台装置に関してですが、ただモダンだというのでもなく、正面から見ると様式的に纏まっていてシンプルですね。宮殿のシーンも照明で幾通りもの変化がつけられます。こうした方式の装置は今では珍しいものではありませんが、日本の皆さんにはどのような感想を持って頂けるでしょうか？」

続いて、国王フィリッポ2世の人物像と音楽的な魅力について。

《ドン・カルロ》は最上級のオペラです。

「まず、この国王は実在の人物であり、オペラに描かれた年代から換算すると当時の彼はまだ36歳、息子のドン・カルロは18歳ですね。でも、オペラの舞台でフィリッポ2世をなぜあんなに年寄りに描くかというと、どのテノールに王子役を歌わせてみたところで、どこからどう見ても18歳に見えないからですよ(笑)。オペラを上演する際には、そんな現実的な理由も生じてきますね。ちなみに、この役は、ヴェルディが書いた全てのバスの役で最も美しいものだと感じています。その美しさの質が音楽的な、歌唱技術の話に留まるのではなく、役そのものとして輝いているのです。例えば、フィリッポ二世とロドリーゴが最初に歌う二重唱（5幕版第2幕）は、政治上の対論の場面でもありますが、同時に人間的な場面です。ここで国王は、ポーザ侯の中に、じつはこのような息子が欲しかったのだという姿を見出すのです。王子ドン・カルロのそれではなく。音楽は本当に素晴らしく、ドラマ性の広がりにおいても抜きん出た場面であり、人間描写の深みが客席にも伝わるはずです。また、先述の第4幕の自室でのアリア〈彼女は私を愛したことがない〉は、国王役の最大の見せ場ですし、そこから宗教裁判長との二重唱に続いて、政治と宗教の思惑がからむシーンが展開します。そして場面はフィリッポとエリザベッタの諍いに。深く傷ついた王は惨めな弱々しい姿を晒しながら、ポーザ侯と共に部屋を去るのです。まさに第4幕が《ドン・カルロ》を最上級のオペラにしていると言っていいでしょう…すみませんね、『自分目線』で断言してしまって(笑)」。

コルセッティ演出「ドン・カルロ」／E. ニキーチン（フィリッポII世）　© N. Razina

運命を変えたカラヤンとの共演と幸運の戻

ここで改めて自らの道のりを回想して―歌手人生とフィリッポ２世役とを重ねて。

「私は北イタリアのサチーレで育ち、曾祖父が大のオペラ好きであったことが歌手の道に進むきっかけの一つになりました。キャリアの前半ではモーツァルトを多く歌いましたが、一方で、『バス歌手を志すなら、《ドン・カルロ》のフィリッポ２世の役は何としても到達すべき目標だ』と感じていました。そして、この役が私の歌手人生を激変させるものにもなりました。1986年ザルツブルグ音楽祭の《ドン・カルロ》で、巨匠カラヤンから突然の指名を受けて出演し、テレビで欧州中に放映されたからです。日本でも以前お話したことがありますが、この時ぴたりと頭に嵌った髪を私は買い取って、それから30年間、フィリッポ2世役を演る時は必ず着けています。いわゆる『幸運の髪』です(笑)。日本でも勿論被りますよ」

そのカラヤンに続くマエストロとして、フルラネットが挙げるのが、マリインスキーを率いるワレリー・ゲルギエフ。

「当代の偉大な指揮者の中で、私は、ゲルギエフ氏に対してだけ『ああ、カラヤンさんのようだ』という感覚を持ちます。カラヤン氏と同じく、ゲルギエフさんも自分の音楽的・芸術的な力量を活かして、マリインスキー歌劇場をひっさげて世界中にその存在を知らしめているからです。彼との仕事は喜び以外の何ものでもありません。終演後も一緒に食事してテーブルで冗談を言い合って、レストランが閉まるまで喜びは続きます(笑)。

フルラネットとゲルギエフは定期的に共演を重ねるまさに盟友。

マリインスキー劇場のヤニス・コッコス演出「ドン・キショット」はフルラネットのために制作されたプロダクション。

2000年のザルツブルグでご一緒して以来、新制作の《ドン・キショット》でもご一緒し、プライベートでも友情を育んできました。彼は約束したことを必ず実行する男。芸術界では星の数ほど口約束が飛び交いますが、ゲルギエフ氏の口から『これをやろうじゃないか』という言葉が出た途端、周囲はその成就を確信します。だから、10月の来日公演もそれは楽しみにしています！」

主催：朝日新聞社／ジャパン・アーツ　後援：ロシア連邦大使館　協力：マリインスキー友の会

チャイコフスキー
エフゲニー・オネーギン 全3幕

＜2014年2月プレミエ、中国国家大劇院との共同制作＞　ロシア語上演／日本語字幕付　【上演時間：3時間40分／休憩含む】

演出：**アレクセイ・ステパニュク**

予定される主なキャスト

オネーギン：**アレクセイ・マルコフ**(10/15)、**ロマン・ブルデンコ**(10/16)

タチヤーナ：**マリア・バヤンキナ**(10/15)、**エカテリーナ・ゴンチャロワ**(10/16)

レンスキー：**エフゲニー・アフメドフ**(10/15)、**ディミトリー・コルチャック**(10/16)

オルガ：**エカテリーナ・セルゲイエワ**(10/15)、**ユリア・マトーチュキナ**(10/16)

グレーミン侯爵：**エドワルド・ツァンガ**(10/15)、**ミハイル・ペトレンコ**(10/16)

10月15日(土) 12:00
10月16日(日) 14:00
東京文化会館

© N. Razina

演出家ステパニュクが語る「オネーギン」

ひのまどか（音楽作家）

—先ず、ステパニュクさんとマリインスキー劇場の関係をお聞かせ下さい。

「私はペテルブルク生まれで、ここの音楽院を卒業した後チェリビンスク(ウラル地方の大都市)のオペラ・バレエ劇場で7年間演出家を務めていました。そこでの成功がゲルギエフの耳に入り、1993年、マリインスキー劇場に迎えられました。以来20年以上ゲルギエフと共同作業を行っています。彼の姉でマリインスキー・アカデミー（劇場専属の研修所）の創設者ラリッサ・ゲルギエワからも生徒たちの指導を頼まれ、長年教えています。

—それで《オネーギン》にアカデミー生や出身の歌手たちを起用したのですね。この研修所にはロシアのみならず世界中から傑出した才能が集まっていますが、今の若者をどう見ますか？

「声楽の技術は非常に高く、どんな要求にも適応出来ます。しかし、総じて本を読みません。そのため知識や自分で考える力が低下しています。今回も私は彼らに《オネーギン》の舞台になっている19世紀の貴族社会の習慣やルールを教え、言葉の意味や動作を教え、正しいイントネーションを教えました。若者のエネルギーは素晴らしいです、彼らはたちまち吸収していきました」

—ということは、《オネーギン》は原作に沿った演出なのですね。

「私の演出理念は、原作を変えないことです。今流行りの読み替え解釈は考えていません。しかし勿論、現代の精神や風潮は吹き込みます。私が考える現代演出とは、登場人物に現代の衣装を着せることではなく、原作の意図を正しく今に伝えることです。人間の喜怒哀楽はどの時代も変りません。オペラではそうした真の感情を表現することが一番大切で、それが結果的に現代人の心を掴みます。奇抜な読み替えで観客が舞台に廃墟やアル中患者を観るようでは困るのです。劇場は何よりも芸術を守らなくてはなりません」

—今回の《オネーギン》演出の特徴はどこにありますか？

「私もゲルギエフも、本当の若さを表現したいと思いました。プーシキンとチャイコフスキーがこの作品を発表したのは共に30代の時です。オペラの主人公たちも皆若く、オネーギンは28歳、詩人レンスキーは18歳、タチヤーナも18歳位、後に彼女が結婚するグレーミン侯爵でさえ38歳です。チャイコフスキーは若さ故の悲劇を伝えたくて、初演では音楽院の学生たちを使うよう希望しました。私も同じ考えで、原作とほぼ同年代の歌手たちを主役に起用しました。ずっとマリインスキー・アカデミーで指導してきたからこそ、彼らの才能を信頼出来たのです」

—オネーギンとタチヤーナの人物像をどう捉えたら良いですか？

「ふたりの性格はプーシキンの原作に良く描かれています。オネーギンは帝都ペテルブルクで生まれ育ち、フランス人家庭教師に学び、フランス語を話す社交界で遊び暮らす西洋の影響を強く受けた青年です。一方のタチヤーナは地方貴族の家に生まれて田舎で育ち、愛に全てを捧げる真のロシア精神の持ち主です。即ちオネーギンは西洋の、タチヤーナはロシアのシンボルです。人間としては純粋で誠実であるが故に、タチヤーナの方が強いのです」

—このオペラには2つの舞踏会シーンがありますが、その対比も鮮明です。

「第2幕の田舎の舞踏会は賑やかで、人々は活発に踊ります。第3幕のペテルブルクの舞踏会は重厚で動きはゆっくりです。当時の踊りはそうでした。これを踊っているのは殆どが合唱団の人たちです。アカデミーでは様々な舞踊を学びますから、皆ダンサー並に踊れます」

—舞台美術も又、素晴らしかったです。とりわけ第3幕の始めと終わりの幻想的なシーンが印象的でした。

「このオペラは普通タチヤーナに去られたオネーギンが「わが憐れむべき運命よ！」と叫んで幕ですが、私はオネーギンが自分の心の地獄に残されるというイメージを作りました。この後オネーギンはどうなるのか？と皆さんが思うように。舞台美術のオルロフと衣装のチェレニコワは天才的な仕事をしました。その辺りも是非観て下さい」

第2幕：田舎の舞踏会（タチヤーナの誕生パーティー）

第3幕：ペテルブルグの舞踏会

ディミトリー・コルチャック ウィーン国立歌劇場で大成功!!

野村三郎（音楽評論家／在ウィーン）

チャイコフスキーの《エフゲニー・オネーギン》は今まで何度見たか分からない。その中に今をときめくアンナ・ネトレプコが主役のタチアーナを歌ったのも勿論見落としてはいない。彼女は絶対に失望させないし、ロシア人として《エフゲニー・オネーギン》の主役を歌うのに全く相応しいからである。というわけで、彼女の出演する2015年11月5日の《オネーギン》の公演にもいそいそと出かけた。

ところがこの日は思いがけない収穫があった。それは妹オルガの婚約者レンスキーを歌ったディミトリー・コルチャックの驚くべき"レンスキーのアリア"であった。コルチャックはテノーレ・レジェーロとどでもいうべきデリケートな声で、この悲劇の主人公の矛盾葛藤する心境を吐露したのだった。第二幕一場でオネーギンがわざとオルガとばかり踊り、レンスキーの嫉妬をかきたてる。ここまでは定石通りと思っていた。

© Wiener Staatsoper/ Michael Pöhn
ウィーン国立歌劇場で絶賛されたコルチャックのレンスキー

ところが、それに続く親友オネーギンとの決闘を前に歌われる"レンスキーのアリア"で、初めて本物の "レンスキー" に出会っていることに気付いたのだ。これまでもこのアリアの立派な歌唱は聴いている。このアリアには「失われた青春の黄金の日々」と「愛するオルガを失う悲しみ」という台詞しか出てこない。それにもかかわらず、軽はずみな嫉妬から逆上した後悔、タチヤーナの誕生パーティを台無しにしたオネーギンとの争い、親友との決定的仲違い等々の思いが、一度に押せてくるのを止められない悲劇的表現が込められていたのだ。これは滅多にない事だ。

この公演でコルチャックは絶賛を博した。それは昨シーズン、ウィーン国立歌劇場で特筆されるべきものであった。年末、年始恒例の《こうもり》第2幕オルフスキーのパーティのゲストに、例年驚きのゲストが呼ばれる。今回それがコルチャックだったのだ。

ウィーン国立歌劇場、大晦日恒例『こうもり』第2幕のスペシャル・ゲストで登場したコルチャック。
今をときめくスターたちが登場してきた同ゲストでの出演はまさにスターの証だ！

これは彼の"レンスキーのアリア"の素晴らしさの証明である。コルチャックは内面的表白のできる滅多にいないテノールである。

演目	公演日 2016年			DATE
ヴェルディ **ドン・カルロ** Pコード：280-167 Lコード：39377	10月10日(月・祝)	14:00	東京文化会館 Tokyo Bunka Kaikan JR上野駅公園口前。地下鉄銀・京成線の上野駅から徒歩7～10分。	October. 10 (Mon) 14:00
	10月12日(水)	18:00		October. 12 (Wed) 18:00
チャイコフスキー **エフゲニー・オネーギン** Pコード：280-167 Lコード：39378	10月15日(土)	12:00		October. 15 (Sat) 12:00
	10月16日(日)	14:00		October 16 (Sun) 14:00

料金（税込）★料金には消費税(8%)が含まれています。

ドン・カルロ(10/12)、**エフゲニー・オネーギン**
¥43,200　A¥36,700　B¥27,000
C¥19,~~440~~　D¥10,~~800~~
ゲルギエフ・シート(学生席) ¥5,400
(夢倶楽部会員) ¥42,200　A¥35,700　B¥26,000　C¥18,~~440~~　D¥9,~~800~~

ドン・カルロ(10/10)
¥45,300　A¥38,800　B¥29,100
C¥2~~1,600~~　D¥1~~1,000~~
ゲルギエフ・シート(学生席) ¥5,400
(夢倶楽部会員) ¥44,300　A¥37,800　B¥28,100　C¥20,~~600~~　D¥1~~1,000~~

ゲルギエフ・シート
[学生席](枚数限定)
＊芸術総監督ワレリー・ゲルギエフの「人類の偉大な財産である芸術を次世代に受け継ぐ」という信念をもとに、特別価格を設定しました。
＊社会人学生を除く公演当日25歳までの学生が対象です。ジャパン・アーツ夢倶楽部会員の方も同額です。
ジャパン・アーツぴあコールセンター及びWEBでジャパン・アーツぴあにて受付いたします。
当日は入口にて学生証を拝見いたします。(学生証がない場合、一般価格との差額を頂戴することがございます。)

★ATTENTION
これらの情報は2016年2月1日現在の予定です。病気、怪我、その他の事情で変更になる場合がございます。最終的な出演者は当日発表とさせていただきます。一旦お求めいただきましたチケットは、公演中止の場合を除きキャンセル・公演日の振替等をお受けいたしかねますので、あらかじめご了承下さい。

ご承諾をいただけない場合は、当日券をご利用下さい。(前売りで売り切れとなった場合は当日券の販売はございません。)

☆車椅子スペースを車椅子でご利用の場合、割引がございます。事前にジャパン・アーツぴあコールセンターまでお申込み下さい。☆シニア・チケット＝65歳以上の方は S席とA席を会員料金でお求めいただけます。(ジャパン・アーツぴあコールセンター及びジャパン・アーツぴあWebサイトで受付)

＜チケットのお申込み＞
ジャパン・アーツぴあ
(03)5774-3040
www.japanarts.co.jp/

チケットぴあ　t.pia.jp　0570-02-9999
ローソンチケット　0570-000-407
東京文化会館チケットサービス　03-5685-0650
イープラス　eplus.jp

Twitterでフォローする
@japan_arts

音楽の力で復興を！
東日本大震災復興支援

【次のことをあらかじめご承知の上、チケットをお求め下さいませ】
① 開演時間に遅れますと、長時間ご入場をお待ちいただくことになります。時間には余裕を持ってお越し下さい。② ご入場には1人1枚チケットが必要です。また未就学児の入場はご遠慮下さい。③ 本公演は全席指定です。お持ちのチケット以外の座席ではご覧いただけません。④ 場内での写真撮影・録音・録画・携帯電話等の使用は、固くお断りいたします。⑤ 本公演の字幕は舞台の両脇に掲出されます。一部の席で見えづらい場合がございますが、あらかじめご了承下さい。⑥ ネットオークションなどによるチケットの転売は、トラブルの原因になりますのでお断りいたします。⑦ チケットはいかなる場合も再発行はできません。紛失等には十分ご注意ください。⑧ 他のお客様のご迷惑となる場合、主催者の判断でご退場頂くことがございます。